

中央

伊勢崎 水彩画者でつく
彩会」(金井功司会
作品展が15日から
崎市の人材派遣ワ
ーポレーション境
化センターで開か



画、山の風景などをま
まな作品が、来場者を楽し
ませている。
午前10時～午後5時
17)へ。(丸山朱理)

19日まで、ぐんま森の会展
繊細な線で野菜や植物を表
現した作品が並ぶ。妻のあ
いさんは「多くの人が来て
もらえたら夫も喜ぶ」と話
し、来場を呼びかけている。
午前10時～午後5時。問



高崎 相続手続支援センタ
ー群馬(高崎市、中沢
淳一センター長)は14
日、「よい遺言の日」(4月15



「争族」防ぐ知識学ぶ 相続手続支援センター講座

日)に合わせ、同市のピエ
ント高崎で遺言相続セミナー
を開いた。午前午後2回で
約50人が今後に備え、相続の
基礎知識を学んだ。写真。
同センターは相続手続きの
円滑な遂行や「争族」になら
ないための事前対策に取り組
んでいる。
中沢センター長が講師を務
め、相続人になるケースやな
らないケースを家系図を示し
ながら丁寧に説明。相続税や
遺言の作成手順などにも触れ
た。
中沢センター長は「相続に
ついて意識してもらえば行動
が変わる。そのきっかけにな
れば」と話した。(米原守)

川島さんに褒章伝達 「月に吠える」初版を市に寄贈

前橋 前橋市出身の詩人、萩原
朔太郎の第1詩集「月に吠
える」の初版無削除版を市
に寄贈した秀明大学長で近代日本
文学研究者の川島幸希さん(62)に
14日、山本龍市長が市役所で紺綬
褒章を伝達した。
川島さんは2021年12月、所

題視された「愛憐」「恋を恋する
人」が削除された。この2編を取
録し、朔太郎が個人的に配った詩
集が無削除版と呼ばれる。10点は
どうか現存が確認されておらず、
希少性が極めて高い。
川島さんは2021年12月、所
属する刀反井川余反町町民会館で自
ら「月に吠える」を刊行した。

創作劇 出演者ら募集



昨年10月上演された「王の儀式」

かみつけの里古墳祭り

高崎 高崎市のかみつけの里博
物館は5月10日まで、10月
のかみつけの里古墳祭り」
で上演する創作劇「王の儀式」の
キャストとスタッフを募集してい
る。
劇は古墳時代の5世紀後半、榛
名山東南麓一帯を治めていた王の
儀式をイメージし、地域にある古
墳や遺跡の研究成果を基に再現し
た。地域の住民らが「王の儀式再
現の会」をつくり、祭りに合わせ
上演している。
活動は毎月第2日曜の午前など
に行う。キャスト以外に募集する
のは衣装や大道具、小道具の制作
撮影などのスタッフ。同館の担当
者は「歴史が好きで好きな方だけ
なく、演技やものづくりが好きな方
に参加してもらいたい」としている。
募集は20人程度で対象は高校生
以上。希望者は電話か、メール(x
amitsuke-museum@cit
y.takasaki.gunma.jp)に
はがきに氏名、住所、年齢、連絡
先を記入し、同館(〒370-013
534 高崎市井出町1514)
「王の儀式再現の会」事務局に申
し込む。
問い合わせは同館(☎027-3
73-0000)へ。(丸山朱理)

19日まで作品展

高崎 榛東村の漆塗り教
室「うるし工房 木
地呂」の作品展が14
日、高崎市の高崎シティギ
ャリー(Shibuya City Hall)で

器の塗り

器、かわいらしいブローチ、
たんす、机などがずらり。天
田さんは「身構えず、漆を身
近に感じてほしい」と話す。
午前10時半～午後5時
(最終日は正午)。問い合
せは(☎027-373-0000)へ。

油彩画 会員

伊勢
谷芳
18日

展が14日、
ホール伊勢崎
まった。油彩
彫刻など幅広
展示している
浅間や赤城
現した作品や
引く抽象画、
再現して背書
静物画が並ぶ
会員は全国公
団体でも活動
れぞれ自信作

文化協会展

